

実践フィールドワーク (2日間)

No. 113

目的

情報マネジメント(観察、記録、整理)の基本を実践
効率的・生産的な会議の手法を学ぶ
チーム力を活用し、問題解決に活かす技術を学ぶ

特長

職場の問題を、研修の場で解決
野外科学から生まれたKJ法の簡易バージョン

対象

一般社員・職員～あらゆる職種・階層
(最適人数 6名 ~ 最大 18名程度)



Table of Contents [DAY1] (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション
研修体系における本セミナーの位置づけと役割
セミナーの目的、内容、進め方およびゴール

1 問題解決の基礎

フィールド・サイエンス(野外科学)とは?
KJ法流、問題解決学
探検の5原則

2 記録力

情報収集の原則: 内部探検と外部探検
点から線へ、線から面へ、野外科学の点メモ技法
感情と思考の見える化
記録を使って、記憶を整理

3 参画的ブレイン・ストーミング

ブレイン・ストーミングとは?
ブレイン・ストーミングの問題点
パルス討論(探検ネット)で、参画的に意見交換
メンバー全員で共通認識

4 外部探検

テーマに沿って、情報収集
インタビュー
観察

振り返りとまとめ
本日の反省点および達成度の確認
質問

[DAY2] (Total 6H ~ 7.5H)

イントロダクション
前日の振り返り
本日のセミナーの目的、内容、進め方およびゴール

1 探検ネットで現状認識

探検型花火(パルス討論)で、現状について共通認識

2 探検ネットで課題発見

問題の本質について考える

3 統合型花火で対策案策定

具体策をブレイン・ストーミング
方向性を打ち出す
アクション・プランの策定

4 発表と意見交換

共通認識の確認
建設的意見交換

振り返りとまとめ
反省点および達成度の確認
気づきとアンケート